

◆ 開催にあたって ◆

私どもの日頃の研究開発活動を広く皆様にご理解頂くとともに、将来の防衛装備品に適用可能な技術分野に関して、今回の研究発表会からは、大学、独立行政法人及び民間企業に初めて参加していただき、より一層開かれた研究発表会を目指します。
皆様のご来場をお待ちしております。

防衛省技術研究本部長 安江 正宏



と き 平成19年11月7日(水)
ところ ホテルグランドヒル市ヶ谷 瑠璃(るり)の間 (3F)

No.	時間	件名	発表者	ポスターセッション
1000~1005		開会のあいさつ	技術企画部長	
一般セッション G1		「弾道評価関連技術」 ★セッションリーダー★	陸上装備研究所弾道技術研究部長 高杉 政彦	
G1-1	1005~1020	衝撃荷重を受ける可搬・組立式構造部材の損傷評価シミュレーション	陸上装備研究所 弾道技術研究部 安藤 智啓	
G1-2	1020~1035	破片模擬弾によるアルミナの貫通現象に関する研究	陸上装備研究所 弾道技術研究部 山田 昌義	
G1-3	1035~1050	固気二相流モデルを用いた砲内弾道解析に関する研究	慶應義塾大学大学院 理工学研究科 三浦 啓晶	
1050~1100		休 憩 (1 0 分)		
一般セッション G2		「戦闘車両評価関連技術」 ★セッションリーダー★	陸上装備研究所機動技術研究部長 志和 陽一郎	
G2-1	1100~1115	マルチボディダイナミクス法を用いた車両転倒シミュレーションの検討	陸上装備研究所 システム研究部 志村 明彦	
G2-2	1115~1130	戦闘車両シミュレータの研究	陸上装備研究所 機動技術研究部 永田 知絵	
G2-3	1130~1145	戦闘車両用電気駆動システムの研究	陸上装備研究所 機動技術研究部 平 秀隆	
G2-4	1145~1200	埋設地雷離隔梁知方式の検討	陸上装備研究所 機動技術研究部 布施 行規	
		昼 休 憩 (6 0 分)		
特別セッション S1		「弾道ミサイル防衛関連分野」 ★セッションリーダー★	副技術開発官(誘導武器担当) 千葉 昌孝	
S1-1	1300~1315	弾道ミサイル防衛用誘導弾主要構成要素の研究試作の成果及び新弾道ミサイル防衛用誘導弾の概要	技術開発官(誘導武器担当)付 大住 知範	
S1-2	1315~1330	BMD C2BMCシステムへの超分散オブジェクト(SDO)技法の適用	(株)日立製作所 デフェンスシステム事業部 養輪 滋	
S1-3	1330~1345	新開発のCMCを用いた高性能・低コスト固体DACSの設計	(株)IHIエアロスペース 山口 一郎	
S1-4	1345~1400	ミサイル防衛用高出力固体レーザーシステム	三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所 竹下 賢司	
		休 憩 (5 分)		
一般セッション G3		「生物・化学剤対処技術」 ★セッションリーダー★	先進技術推進センター研究管理官 小林 松男	電 子 装 備 P1
G3-1	1405~1430	生物テロ事態の早期把握と感染経路の推定	国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部 林 譲	
G3-2	1430~1445	大気環境中に存在する微生物の季節変動	(財)北里環境科学センター 評価試験部 菊野 理津子	
G3-3	1445~1455	顕微鏡画像を利用した微生物の高速分離	先進技術推進センター 岡田 匡史	
G3-4	1455~1505	生物剤の識別 (1) タンパク質の質量スペクトルによる解析	先進技術推進センター 林 英之	
G3-5	1505~1515	生物剤の識別 (2) DNAの超高速増幅による解析	先進技術推進センター 内田 信	
	1515~1530	質疑応答 (15分)		
G3-6	1530~1545	呈色反応を利用した携帯型化学剤検知器の開発	先進技術推進センター 川島 えり	
G3-7	1545~1600	漏れない防護マスクのコンピュータ援用設計	先進技術推進センター 大西 洋一	
		休 憩 (5 分)		
一般セッション G4		「情報セキュリティ技術」 ★セッションリーダー★	電子装備研究所ネットワーク技術研究部長 井上 昌二郎	陸 上 装 備 P2
G4-1	1605~1630	日本における情報セキュリティ評価認証制度の御紹介	(独)情報処理推進機構 セキュリティセンター 山田 安秀	
G4-2	1630~1645	ISO/IEC15408(EAL6)に基づく評価手順書	電子装備研究所 ネットワーク技術研究部 佐野 裕香	
		休 憩 (5 分)		
一般セッション G5		「センシング技術」 ★セッションリーダー★	電子装備研究所システム研究部長 渡辺 秀明	
G5-1	1650~1715	レーダ技術について	電気通信大学 電気通信学部 桐本 哲郎	
G5-2	1715~1730	多機能RFセンサの研究	電子装備研究所 センサ技術研究部 入江 寿憲	
G5-3	1730~1745	パッシブレーダに関する研究	電子装備研究所 飯岡支所 小原 宗嗣	
G5-4	1745~1800	2波長量子ドット型赤外線センサの研究	電子装備研究所 センサ技術研究部 木部 道也	

と き 平成19年11月8日(木)
 ところ ホテルグランドヒル市ヶ谷 瑠璃の間 (3F)

No.	時間	件名	発表者	ホスターセッション	
一般セッション G6 「先進水上艦艇技術」 ★セッションリーダー★					
G6-1	1000~1020	次世代高速船の技術と課題	艦艇装備研究所航走技術研究部長 太田 和彦 (財)日本造船技術センター 鷺尾 祐秀	航空 装 備 P3	
G6-2	1020~1035	トリマラン船型の推進性能	艦艇装備研究所 航走技術研究部 松本 慎也		
G6-3	1035~1055	高速マルチハル船型の抵抗計算	防衛大学校 機械システム工学科 木原 一		
休 憩 (5分)					
G6-4	1100~1115	複合材料製船体の技術と課題	東京大学大学院 工学系研究科 鞆沢 深		
G6-5	1115~1130	先進船体材料・構造の研究	艦艇装備研究所 航走技術研究部 土田 幸也		
G6-6	1130~1145	UUVの相互ポジショニング方式	艦艇装備研究所 探知技術研究部 須藤 恭史		
G6-7	1145~1200	将来UUV/USVの研究に向けて	先進技術推進センター 神山 和彦		
昼 休 憩 (60分)					
特別セッション S2 「次期固定翼哨戒機・次期輸送機」 ★セッションリーダー★					
S2-1	1300~1325	次期固定翼哨戒機・次期輸送機の概要 ー世界初の2機種同時開発ー	副技術開発官(航空機担当) 大弓 義夫 技術開発官(航空機担当)付 泉頭 悦郎	艦 艇 装 備 P4	
S2-2	1325~1350	次期固定翼哨戒機・次期輸送機同時開発ー設計作業の トピックス	川崎重工業(株) 航空宇宙カンパニー 久保 正幸		
	1350~1400	質疑応答 (10分)			
休 憩 (5分)					
一般セッション G7 「大型機用エンジン技術」 ★セッションリーダー★					
G7-1	1405~1425	大型機用エンジン(XF7-10)の概要	航空装備研究所 システム研究部 高村 倫太郎	艦 艇 装 備 P4	
G7-2	1425~1445	大型機用エンジン(XF7-10)の設計	(株)IHI 航空宇宙事業本部 松本 祐太		
G7-3	1445~1505	大型機用エンジン(XF7-10)の性能確認試験	航空装備研究所 航空機技術研究部 山根 喜三郎		
休 憩 (10分)					
一般セッション G8 「ヘリコプター技術」 ★セッションリーダー★					
G8-1	1515~1530	ヘリコプター揺動制御技術の概要	航空装備研究所 航空機技術研究部 亀山 文晴	艦 艇 装 備 P4	
G8-2	1530~1550	ヘリコプターの性能及び環境適合性向上技術の研究 ーヘリコプターの低騒音化技術についてー	(独)宇宙航空研究開発機構 航空プログラムグループ 齊藤 茂		
G8-3	1550~1605	既存ヘリコプターの落下衝撃試験について	航空装備研究所 航空機技術研究部 大貫 修平		
	1605~1610	閉会のあいさつ	技術研究本部長		

● 展示セッション

と き 平成19年11月7日(水) 1000~1830, 平成19年11月8日(木) 1000~1600
 ところ ホテルグランドヒル市ヶ谷 芙蓉(ふよう)の間 (2F)

テーマ	展示品名
陸 上 装 備 E1	新戦車、新架橋、高精度化弾薬システム
	小型ロボット(偵察・情報収集用)
	ガンダムの実現に向けて(先進個人装備システム)
電 子 装 備 E2	将来統合無線
	ミサイル光波妨害用実寸レーザー追尾照準器模型
	将来センサシステム搭載 UP-3C の模型
	次世代近接戦闘情報共有システム
	壁透過レーダ装置
	多機能RFセンサ(送受信モジュール、素子アンテナ)

テーマ	展示品名
航 空 装 備 E3	無人機研究システムの無人機スケール模型
	DACS構成品2型
	60cm級携帯型飛行体
	全機縮小RCS模型
艦 艇 装 備 E4	ITOコーティング・キャノピー
	次期固定翼哨戒機・次期輸送機模型
	研究開発等成果紹介スライド
	先進船体材料・構造の研究 接合部模型
	X舵自由航走模型
	アクティブ磁気検知装置
	曳航式電界センサ